

2023<sup>ねん</sup>年11<sup>がつ</sup>月15<sup>にち</sup>日

# うるまYA! 今回のおすすめメニュー



## 『子どもたちの遺言』

たにかわしゅん た ろう し た ぶちしょうぞう しゃしん  
谷川俊太郎 || 詩 田淵章三 || 写真

ねん こうせいしゅっぱんしゃ  
2009年 佼成出版社

しょ ぞうかん ちゅうおうかん かつれんかん せいきゅう き ごう じ どう  
所蔵館 中央館・勝連館 請求記号 児童911タ

### ちょっとあじみ

う 生まれたばかりの <sup>あか</sup>赤ん坊から <sup>おとな</sup>大人になりかけて  
いる <sup>わかもの</sup>若者まで、<sup>ねんだい</sup>さまざまな年代の <sup>こ</sup>子どもたちの <sup>ひょうじょう</sup>表情  
をとらえた <sup>しゃしん</sup>写真に、<sup>し じん</sup>詩人の <sup>たにかわしゅん た ろう</sup>谷川俊太郎さんが、<sup>し</sup>死か  
ら <sup>とお</sup>遠い <sup>そんざい</sup>存在の <sup>こ</sup>子どもたちが <sup>おとな</sup>大人への <sup>ゆいごん</sup>遺言を <sup>か</sup>書いた  
ら、<sup>はっそう</sup>という <sup>へん</sup>発想で <sup>し</sup>12編の <sup>しゃしん</sup>詩を <sup>ししゅう</sup>そえた <sup>とう じ</sup>写真詩集。当時  
77<sup>さい</sup>歳の <sup>たにかわ</sup>谷川さんが <sup>しゃしん</sup>写真の <sup>こ</sup>子どもたちと <sup>どうか</sup>同化してい  
るような、<sup>ことば</sup>みずみずしい <sup>ことば</sup>言葉で <sup>ことば</sup>つづられています。